

3. 教職課程履修の手引き

教育職員免許状を取得するには、下表の資格と単位の修得を要する。(26～33ページの履修表3～6を参照)

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	免許法施行規則第66条の6に定める科目
中学校教諭一種免許状	学士の称号を有すること	28単位 (履修表3)	27単位 (履修表4)	4単位 (履修表3・4・5)	8単位 (履修表6)
高等学校教諭一種免許状		24単位 (履修表3)	23単位 (履修表4)	12単位 (履修表3・4・5)	

1. 教職課程の履修を希望する者は、4月に行われる2年次・3年次・4年次のガイダンスに必ず出席すること。

2. 「教科及び教科の指導法に関する科目」について(26～30ページの履修表3を参照)

- 1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」は、「教科の指導法」を除き全て卒業要件算入科目である。
- 2) 履修表3において、希望教科を確認のうえ、必修及び選択必修科目に十分注意して修得すること。

3. 「教育の基礎的理解に関する科目等」について(31ページの履修表4を参照)

- 1) 「教育の基礎的理解に関する科目等」は、全て卒業要件外科目である。
- 2) 履修表4において、必修及び選択必修科目に十分注意して修得すること。
- 3) 「教育の基礎的理解に関する科目等」には、人文学部における特別選択科目の「教職関係科目」(9ページ(6)-3および23ページを参照)として開講されるものと、全学教育機構で開講されるものがあるので注意すること。

4. 「大学が独自に設定する科目」の単位について(32ページの履修表5を参照)

「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の必要単位数を超えて修得することによる超過分の単位と、共通教育で開講される授業科目の単位である。ただし本学部では、中学校教諭一種免許状を取得希望する者は、必修である「介護等体験の意義と実際」1単位のみを「大学が独自に設定する科目」として修得し、残りの3単位は「教科及び教科の指導法に関する科目」を履修する。また、高等学校教諭一種免許状を取得希望する者は「教科及び教科の指導法に関する科目」を履修する。

< 中学・高校両方の免許を取得しようとする場合 > 「教科及び教科の指導法に関する科目」28単位に「大学が独自に設定する科目」12単位を加えた40単位以上を履修表3にある「教科及び教科の指導法に関する科目」から修得し、さらに「大学が独自に設定する科目」の必修科目である「介護等体験の意義と実際」を修得する。

5. 教育実習の履修要件

「自分の希望する教科の指導法」および教育実習に先だって行われる「教育実習事前指導」を履修していないなければならない。

6. その他の教職関係科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)の履修について

履修表3, 4, 5にしたがって「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の単位を修得することに加え、共通教育科目と人文学部の特別選択科目(教職関係科目)から次の4科目を履修し、単位を修得しなければならない(32ページの履修表6を参照)。なお、これらのうち「情報機器の操作」は卒業要件外科目、他は卒業要件算入科目である。

- ・日本国憲法 2単位
- ・外国語コミュニケーション 2単位
- ・体育 2単位
- ・情報機器の操作 2単位

履修表 3 教科及び教科の指導法に関する科目

社会コース（中学校教諭一種免許状 社会）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
社会	日本史及び 外国史	日本史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本史概論Ⅱ必修	2
		日本史特論Ⅰ～Ⅶ	各2		
		日本史基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		日本史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		東洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	東洋史概論Ⅱ必修	2
		東洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		東洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		東洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2	西洋史概論Ⅰ必修	2
		西洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2		
		西洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		西洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		西洋史発展演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		歴史学方法論基幹演習Ⅰ～Ⅱ	各2		
		地理学 (地誌を含む)	人文地理学	2	必修
自然地理学	2		必修	2	
地誌・地域研究	2		必修	2	
「法学, 政治学」	法学Ⅰ～Ⅱ	各2	法学Ⅰ～Ⅲ,政治学Ⅰ～Ⅲの中から 合計4単位選択必修	4	
	法学Ⅲ	4			
	政治学Ⅰ～Ⅲ	各2			
「社会学, 経済学」	社会学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	
	経済学Ⅰ～Ⅲ	各2			
	社会学特論Ⅰ	2			
	社会学発展演習Ⅰ	2			
	社会調査実習Ⅰ～Ⅱ	各2			
「哲学,倫理学, 宗教学」	哲学・思想論概論Ⅰ～Ⅱ	各2	哲学・思想論概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	
教科の指導法	社会科・地理歴史科指導法	2	必修	8	
	社会科・公民科指導法	2	必修		
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修		
	社会科・公民科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会科・公民科指導法特論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修		
必修及び選択必修科目 計(a)					28
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					3
合計 (a+b)					31

※ 中学校教諭一種免許状(社会)に必要な「教科及び教科の指導法に関する科目28単位」,「大学が独自に設定する科目4単位」を修得する場合,各教科の一覧表にある必要最低単位数31単位と履修表5「介護等体験の意義と実際1単位」の合計32単位が必要となる。

履修表 3 教科及び教科の指導法に関する科目

地理歴史コース（高等学校教諭一種免許状 地理歴史）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
地理 歴史	日本史	日本史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本史概論Ⅱ 必修	2
		日本史特論Ⅰ～Ⅶ	各2		
		日本史基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		日本史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		歴史学方法論基幹演習Ⅰ	2		
	外国史	東洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	東洋史概論Ⅱ 必修	2
		東洋史特論Ⅰ～Ⅴ	各2		
		東洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ	各2		
		東洋史発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2		
		西洋史概論Ⅰ～Ⅱ	各2	西洋史概論Ⅰ 必修	
西洋史特論Ⅰ～Ⅴ		各2			
西洋史基幹演習Ⅰ～Ⅳ		各2			
西洋史発展演習Ⅰ～Ⅳ		各2			
人文地理学及 び自然地理学	人文地理学	2	必修	2	
	自然地理学	2	必修	2	
地誌	地誌・地域研究	2	必修	2	
教科の指導法	社会科・地理歴史科指導法	2	必修	4	
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	2	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修		
必修及び選択必修科目 計(a)					16
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					20
合計 (a+b)					36

履修表 3 教科及び教科の指導法に関する科目

公民コース（高等学校教諭一種免許状 公民）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数
		授業科目	単位数		
公民	「法律学(国際法を含む。), 政治学(国際政治学を含む。)」	法律学Ⅰ～Ⅱ	各2	法律学Ⅰ～Ⅲ, 政治学Ⅰ～Ⅲの中から 合計4単位選択必修	4
		法律学Ⅲ	4		
		政治学Ⅰ～Ⅲ	各2		
	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	社会学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会学概論Ⅰ, Ⅱいずれか選択必修	2
		経済学Ⅰ～Ⅲ	各2		
		社会学特論Ⅰ	2		
		社会学発展演習Ⅰ	2		
		社会調査実習Ⅰ～Ⅱ	各2		
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	哲学・思想論概論Ⅰ～Ⅱ	各2	哲学・思想論概論Ⅰ, Ⅱいずれか選択必修	2
		哲学・思想論基幹演習Ⅰ～Ⅸ	各2		
哲学・思想論特論Ⅰ～Ⅻ		各2			
哲学・思想論発展演習Ⅰ～Ⅻ		各2			
心理学概論Ⅰ～Ⅱ		各2	心理学概論Ⅰ, Ⅱいずれか選択必修	2	
心理学研究法		2			
心理学基礎実験Ⅰ		2			
心理学基礎実験Ⅱ(心理的アセスメント)		2			
心理学特殊実験Ⅰ(心理学実験)	2				
教科の指導法	社会科・公民科指導法	2	必修	4	
	社会科・公民科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2	社会科・公民科指導法特論Ⅰ, Ⅱいずれか選択必修		
必修及び選択必修科目 計(a)					14
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					22
合計 (a+b)					36

履修表 3 教科及び教科の指導法に関する科目

国語コース（中学校教諭一種免許状 国語, 高等学校教諭一種免許状 国語）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数	
		授業科目	単位数		中学	高校
国語	国語学 (音声言語及び 文章表現に関 するものを含 む。)	日本語学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本語学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	2
		日本語史Ⅰ～Ⅱ	各2	日本語史Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	2
		日本語学特論Ⅰ～Ⅳ	各2	※「国語学」から選択必修合わせて 6単位以上修得すること		
		日本語学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育学概論Ⅰ～Ⅱ	各2			
		日本語教育学特論Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
		日本語教育実習	2			
		日本語教育学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2			
国文学 (国文学史を含 む。)	日本文学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	日本文学概論Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	2	
	日本文学史Ⅰ～Ⅱ	各2	日本文学史Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2	2	
	日本文学特論Ⅰ～Ⅵ	各2	※「国文学」から選択必修合わせて 6単位以上修得すること			
	日本文学基幹演習Ⅰ～Ⅵ	各2				
	日本文学発展演習Ⅰ～Ⅵ	各2				
漢文学	漢文学要説	2	必修	2	2	
書道(書写を中 心とする。)	書道芸術Ⅰ～Ⅱ	各2	書道芸術Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	2		
教科の指導法	国語科指導法Ⅰ～Ⅱ	各2	(中学免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ及び指導 法特論Ⅰ,Ⅱ必修	8	4	
	国語科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2	(高校免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ必修			
必修及び選択必修科目 計(a)					20	14
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					11	22
合計 (a+b)					31	36

※ 書道芸術Ⅰ,Ⅱは中学校教諭一種免許状取得希望者のみ単位として認定(高等学校では算入されない)

※ 中学校教諭一種免許状(国語)に必要な「教科及び教科の指導法に関する科目28単位」,「大学が独自に設定する科目4単位」を修得する場合,各教科の一覧表にある必要最低単位数31単位と履修表5「介護等体験の意義と実際1単位」の合計32単位が必要となる。

履修表 3 教科及び教科の指導法に関する科目

英語コース（中学校教諭一種免許状 英語, 高等学校教諭一種免許状 英語）

教科	免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数		
		授業科目	単位数		中学	高校	
英語	英語学	英語学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	英語学概論Ⅰ,Ⅱ, 英語史Ⅰ,Ⅱ から1科目選択必修	2	2	
		英語史Ⅰ～Ⅱ	各2				
		英語学特論Ⅰ～Ⅵ	各2				
		英語学基幹演習Ⅰ～Ⅷ	各2				
		英語学発展演習Ⅰ～Ⅷ	各2				
	英語文学	英語文学概論Ⅰ～Ⅱ	各2	英語文学概論Ⅰ,Ⅱからいずれか選択必修	2	2	
		英語文学特論Ⅰ～Ⅻ	各2				
		英語文学基幹演習Ⅰ～Ⅷ	各2				
		英語文学発展演習Ⅰ～Ⅷ	各2				
	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション初級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション初級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1	
		英語コミュニケーション中級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション中級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1	
		英語コミュニケーション上級Ⅰ～Ⅱ	各1	英語コミュニケーション上級Ⅰ,Ⅱいずれか選択必修	1	1	
		英語ライティングⅠ～Ⅱ	各1				
	異文化理解	異文化間コミュニケーション論Ⅰ～Ⅱ	各2	異文化間コミュニケーション論Ⅰ,Ⅱ, 英米 文化事情Ⅰ,Ⅱから1科目選択必修	2	2	
		英米文化事情Ⅰ～Ⅱ	各2				
	教科の指導法	英語科指導法Ⅰ～Ⅱ	各2	(中学免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ及び指導 法特論Ⅰ,Ⅱ必修	8	4	
		英語科指導法特論Ⅰ～Ⅱ	各2	(高校免許希望者) 指導法Ⅰ,Ⅱ必修			
	必修及び選択必修科目 計(a)					17	13
	選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)					14	23
	合計 (a+b)					31	36

※ 中学校教諭一種免許状(英語)に必要な「教科及び教科の指導法に関する科目28単位」, 「大学が独自に設定する科目4単位」を修得する場合, 各教科の一覧表にある必要最低単位数31単位と履修表5「介護等体験の意義と実際1単位」の合計32単位が必要となる。

履修表 4 教育の基礎的理解に関する科目等

全コース共通

免許法施行規則に定める 区分・科目等			左記に対応する本学部の授業科目		履修方法	必要最低 単位数		履修 年次	
区分	科目	必要 単位数	授業科目	単位数		中学	高校		
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教職論	2	必修	2	2	1	
			教育の思想と歴史	2					1～4
			教育学概論	2	必修	2	2	1	
			発達と教育	2	必修	2	2	1	
			発達心理学概論	1					1～4
			特別支援教育の理論と実践Ⅰ	1	必修	1	1	1	
			特別支援教育の理論と実践Ⅱ	1					2～4
			障害と共生社会	2					1～4
			教育の制度と経営	2	必修	2	2	1	
			教育課程の編成法	1	必修	1	1	1～4	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中10 高8	道徳教育の理論と実践	2	中学免許希望者は必修	2	—	2～3	
			総合的な学習の時間の指導法	1	必修	1	1	2～3	
			特別活動の理論と実践	1	必修	1	1	2～3	
			教育方法論	1	必修	1	1	2～3	
			学校教育と情報	2				1～4	
			教育方法特論	1				2～4	
			生徒指導の理論と実践	2	必修	2	2	2～3	
			進路指導・キャリア教育の理論と実践	1	必修	1	1	1～4	
			教育相談の理論と実践	2	必修	2	2	1	
			教育相談特論	2				2～4	
第5欄	教育実践に関する科目	中5 高3	教育実習事前・事後指導	1	必修	1	1	4	
			中等基礎教育実習	4	中学免許希望者は必修	4	—	4	
			高等学校教育実習	2	高校免許希望者は必修	—	2	4	
		2	教職実践演習(中・高)	2	必修	2	2	4	
必修及び選択必修科目 計(a)						27	23	/	
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)						0	0		
合計 (a+b)						27	23		

※ 教育実習,教職実践演習以外の科目は,「共通教育履修案内」を参照して履修すること。

※ 上記は全て卒業要件外科目である。

※ 中学社会,高校地理歴史,高校公民を希望する者は,履修について学務係で確認すること。

履修表 5 大学が独自に設定する科目

全コース共通

免許法施行規則に定める 科目区分	授業科目	単 位 数	履修方法	必要最低 単位数		履修 年次
				中学	高校	
大学が独自に設定する科目	介護等体験の意義と実際	1	中学免許希望者は必修	1	—	1
	現代社会と教育問題	2	高校免許希望者用			1
	コミュニケーションの障害と学習	2				1～4
	生涯学習概論	2				1～4
	道德教育の理論と実践	2				2～3
	教育臨床基礎演習	1				1～3
	教育臨床応用演習	1				2～3
	教育臨床総合演習	1				3～4
必修及び選択必修科目 計(a)				1	0	
選択科目(必修及び選択必修以外に上記科目から修得する) 計(b)				0	0	
合計 (a+b)				1	0	

※「教育の基礎的理解に関する科目等」と「教科及び教科の指導法に関する科目」については、それぞれの最低修得単位数を超えて修得した単位を「大学が独自に設定する科目」に算入することができる。

※ 上記の授業科目は「教育の基礎的理解に関する科目等」あるいは「教科及び教科の指導法に関する科目」に算入することはできない。

履修表 6 その他の教職関係科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

全コース共通

免許法施行規則に定める 科目区分		左記に対応する本学の授業科目				
科目	必要 単位数	授業科目名	副題	単位数	履修方法	必要最低 単位数
日本国憲法	2	法学・政治学	日本国憲法	2	必修	2
体育	2	健康	健康科学・理論と実践	1	必修	1
		キャンパススポーツ実習	ソフトボール、バドミントン、インクルーシブスポーツ、ターゲットスポーツ、スポーツボウリング、コーディネーションエクササイズ、ニュースポーツ、剣道、テニス、サッカー、バレーボール、バスケットボール	各1	1単位を選択必修	1
		アウトドアスポーツ実習	サバイバル活動、アウトドアの達人、レジャースポーツ、スクーバダイビング、トレッキング、マリンスポーツ、スポーツフィッシング、信大マラソン、ゴルフ、ネイチャースキー、スノー・スポーツ			
外国語 コミュニケーション	2	英語	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (B)	1	必修	1
			アカデミック・イングリッシュ・フェイズ II (B)	1	必修	1
情報機器の操作	2		教職のための情報・メディア活用(注1)	2	必修	2
合計						8

※「教職のための情報・メディア活用」以外の科目は、全学教育機構で開講する科目を履修する。

注1:「情報機器の操作」の科目については,独立行政法人「情報処理推進機構」認定の情報処理技術者試験の国家資格取得者(例:「ITパスポート試験」,「基本情報技術者試験」などの合格者)は,下記により単位の認定を受けることができる。

対照資格	独立行政法人「情報処理推進機構」認定の情報処理技術者試験の国家資格
申請方法	随時,合格証書原本を添えて,申請書を人文学部学務係へ提出する。 原本はコピーし,その場で返却する。 なお,4年次は12月25日(休日に当たるときは翌日)までに提出すること。
認定単位	特別選択科目のうちの「教職のための情報・メディア活用」の2単位
備考	・単位認定は申告制とする。 ・申請時に単位を修得済みの場合は,単位認定を行わない。